

こども自然共生活動推進プログラム助成

『旧赤間関街道北道筋（湯本、俵山間）』自然とふれあう散策ルートづくり事業

- ☆ 日 時：平成24年2月12日（日） 9：00～12：00
- ☆ 場 所：旧街道北道筋（長門市俵山）
- ☆ 参加者：27人（こども11人・大人16人）
- ☆ 主催者：ながと大内湯けむり街道協議会

1 スケジュール

- 8：40～ 9：00 受付（集合場所：俵山公民館）
- 9：00～ 9：25 講話「樹木について」
- 9：30～12：00 街道の看板設置、自然観察学習会

2 活動内容

子ども達と活動する3回目の今回は「旧街道を歩こう」を合い言葉に、自然観察学習や看板設置を行いながら、旧街道を散策しました。

○ 開会

俵山公民館で、主催者あいさつと本日のスケジュール説明および樹木や自然環境について話をされる中村講師の紹介があった。

当初は、旧街道を散策しながら講師から樹木の特徴等の説明を受ける予定だったが、快晴だが気温が -2°C と低く山の中はもう少し低いだろうということで、まず樹木医の中村講師の講義を聴いてから散策に出発することとなった。



○ 自然観察学習会（講師：樹木医 中村裕三氏）

樹木医の役割と活動の事例や樹木の環境に果たす役割（二酸化炭素を吸収し酸素をつくること、木の中に二酸化炭素を固定すること、災害を防ぐ役目を担うこと等）等の自然環境全体でとらえた話と個々の樹木の種類や特徴についての説明を受けた。



○ 街道散策

俵山公民館から車で旧街道出入口へ移動し、「ながと大内湯けむり街道」と書かれた看板を設置した。看板は全て手作りだが、この看板を含む旧街道の2箇所の出入り口のもの、団体の中の看板関係のプロが下書きをしたものに、参加者が色を塗り仕上げたもので、コンクリートで基礎を作り設置。その他の案内板は直接、杭を打ち込んだ。

今回は、案内板の内容を吟味するために街道を散策した時とは反対向きの俵山方面から大寧寺方面に向けて街道を散策した。案内板は自分で作成したものをそれぞれが内容にあった場所に設置した。内容は、各人で考えて書いたもので「広場で遊ぼう・ゴミすてきんし」「おめでとう」「この先名もなき滝」「空を見上げて」等、視点が子どもらしく、微笑ましいものとなっていた。



俵山側の街道口



散策の途中、滝のそばで実際の葉を紹介しながら、樹木についての学習や森林浴の効果等について講師から話があり、参加者は自然の中に入っていくことの効果を学んだ。



大寧寺側からの街道口

散策後、俵山公民館に戻り行った閉会式で、主催者が「これからも、旧街道の散策を続けていくのでまた参加してください。」と子ども達に伝えた。

約2時間かけ、案内板の設置と講師の話聞き散策しました。子ども達は、小さな滝から流れ落ちた川の水に触り、鳥の声に耳を傾け、木々の間から空を見上げたり、キノコを見つける等、自然にふれあい楽しいひとときを過ごしたようでした。

俵山方面からの旧街道は上り坂が少なく平坦あるいは緩やかな下りの道で幼児でもひとりで歩くことができました。

旧街道・現道を利用して散策ルートが広がると自然や歴史、文化を学ぶ場所となりそうです。